

藤沢市 平成30年度事務事業評価シート(平成29年度分)

事務事業名	公共資産活用関係費										担当課	部課名	企画政策部 企画政策課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	09	細目	003	説明	01	課等の長	佐保田 俊英	電話	2172

1. 事業概要

事業開始年度	平成 21 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 「藤沢市公共施設再整備基本方針」に基づき、「公共施設の安全性の確保」を図る中で、「公共施設の長寿命化」、「公共施設の機能集約・複合化による施設数縮減」を目指し、再整備対象施設の検討及び調整を行う。 公共建築物の維持管理に必要な公共建築物台帳のデジタル化を推進する。 本市の公共施設、公有地等の資産の有効活用を推進する。 						
事業目的および必要性	現在保有している公共施設の半数近くは、建設後30年を超えており、今後次々と更新時期を迎えるが、更新に必要な投資的経費の確保が難しくなっている。また、当面は人口の増加が見込まれるが、長期的には人口の減少が想定される中で、継続的な行政サービスの提供を可能にする公共施設の再整備を進めることを目的とする。						
対象	1. 個人	市民				427,501	人
根拠法令等							
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社日本総合研究所) (委託等内容 : 藤が岡二丁目地区再整備PFI事業者選定アドバイザー業務委託) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名		指針体系コード					
都市基盤の充実と長寿命化対策の推進		5-1-91		本事業は「藤沢市公共施設再整備基本方針」に基づいている。また、「藤が岡二丁目地区再整備事業」については、「藤沢市公共施設再整備プラン」の第2期短期プランに位置づけられている。			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
公共施設を次世代のために、よりよい状態で引き継いでいると感じますか？		2.9 点	2.9 点	3.9 点	2.74 点		
		点	点	点	点		

平成29年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	報償費	190 千円	委員謝礼
	20,243 千円	1,216 千円	不動産鑑定手数料, 筆耕翻訳料
	委託料	12,096 千円	藤が岡二丁目地区再整備PFI事業者選定アドバイザー業務
	使用料及び賃借料	6,527 千円	藤沢市公共建築物台帳等システム賃借料
	その他	214 千円	旅費, 需用費
【参考】 平成30年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額 (千円)	主な事業内容
	報償費	114 千円	委員謝礼
	6,950 千円	113 千円	普通旅費
	需用費	150 千円	消耗品費, 印刷製本費
	役務費	349 千円	不動産鑑定手数料, 筆耕翻訳料
	使用料及び賃借料	6,224 千円	藤沢市公共建築物台帳等システム賃借料

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
正規職員等	4.25	4.20	4.20	4.20
再任用短時・任期付短時職員	0.00	0.00	0.00	0.00
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	4.25	4.20	4.20	4.20

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

平成29年度 事業実施 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市公共施設再整備プランの第2期短期プランに位置づけている「藤が岡二丁目地区再整備事業」について、PFI手法を導入した再整備を円滑に行う上でのアドバイザー業務委託を行い、事業の進捗を図った。 ・公共建築物台帳システムに施設情報を追加するとともに、モデル施設による予防保全項目の検証を行った。 ・公共資産活用等検討委員会を開催し、活用見込みのない資産の処分等、公有財産の有効活用の取組を図った。 ・藤沢市公共施設再整備プラン(短期プラン)に位置づけた実施の事業及び検討事業の進捗管理を行った。 						
成果目標	指標名	単位	平成26年度 目標値	平成27年度 目標値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	備考
	短期プラン(実施事業)進捗率	%	100	100	100	100	
	参考						
活動実績	指標名	単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	備考
	実施事業数	事業	20	20	20	14	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	短期プラン(実施事業)進捗率	%	100	100	100	100	
	数値で表せない効果						

4. コスト分析

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
コスト	行政費用(フルコスト) A	54,322	58,798	91,205	59,788	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	58,158	59,833	91,341	60,843	
	事業費(支出済額-②報酬合計)	17,876	19,735	50,830	20,243	
	償還金利息	0	0	0	0	
	人件費合計(①+②+③)	40,282	40,098	40,511	40,600	
	職員数(常勤 非常勤)	4.25 0.00	4.20 0.00	4.20 0.00	4.20 0.00	
	参考:正規職員平均給与	8,880	9,040	9,101	9,219	
	①職員給与合計(常勤)	37,740	37,968	38,224	38,720	
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0	
	③退職金相当額	2,542	2,130	2,287	1,880	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-3,836	-1,035	-136	-1,055	
	①減価償却費	0	0	0	0	
	②退職給与引当金繰入額	-3,836	-1,035	-136	-1,055	
	③不納欠損額	0	0	0	0	
	④その他()	0	0	0	0	
収入	行政収益(事業収入) B	0	0	0	0	
	(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	0	0	
	①分担金及び負担金 c	0	0	0	0	
	②使用料及び手数料 d	0	0	0	0	
	③国庫支出金	0	0	0	0	
	④県支出金	0	0	0	0	
	⑤その他()	0	0	0	0	
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0		
収入未済増減額	0	0	0	0		
収支差額(純費用)A-B E	54,322	58,798	91,205	59,788		
分析指標	項目	短期プラン(実施事業)進捗率 F	100	100	100	100
			単位 %	単位 %	単位 %	単位 %
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	543,220.00	587,980.00	912,050.00	597,880.00	
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	129.86 418,308	139.79 420,619	214.55 425,105	139.85 427,501	
受益者負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00		

※1 職員数・・・[常勤]一般職員,再任用職員,任期付職員,嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し,事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成28年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市公共建築物長寿命化（予防保全）指針に基づく、計画的な維持管理の推進に向け、モデル施設による予防保全項目の検証。 ・第2次藤沢市公共施設再整備プラン（平成29～32年度）に位置づけた事業の財政支出の削減及び平準化の検討。
(2) (1)解決のための平成29年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市公共建築物長寿命化に向け、モデル施設の検証を行い、予防保全型における保全項目を精査し、中長期計画の策定に向けた取組を進めていく。 ・藤沢市PPP/PFI手法優先的検討規程に基づく、第2次藤沢市公共施設再整備プラン（平成29～32年度）に位置づけた事業における財政支出の削減及び平準化の検討。（PFI手法で実施する藤が岡二丁目地区再整備事業の円滑な事業進捗を図る。）
(3) 平成29年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市公共建築物長寿命化に向け、モデル施設の検証を行い、保全項目の精査、中長期計画の策定に向けた取組を引き続き行う。 ・第2次藤沢市公共施設再整備プラン（平成29～32年度）に位置づけた事業の財政支出の削減及び平準化の検討を引き続き行う。
(4) (3)解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市公共建築物長寿命化に向け、モデル施設の検証を行い、予防保全型における保全項目を精査し、中長期計画の策定に向けた取組を進めていく。 ・藤沢市PPP/PFI手法優先的検討規程に基づく、第2次藤沢市公共施設再整備プラン（平成29～32年度）に位置づけた事業における財政支出の削減及び平準化の検討。（PFI手法で実施する藤が岡二丁目地区再整備事業の円滑な事業進捗を図る。）

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	<input type="radio"/> ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	<input type="radio"/> ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの <input type="radio"/> オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	<input type="radio"/> ア=恒久的に実施するもの <input type="radio"/> イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…平成29年度支出済額	<input type="radio"/> ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 <input type="radio"/> エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	<input type="radio"/> ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	<input type="radio"/> ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 <input type="radio"/> エ=50～80%未満 オ=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
4. 施設等整備	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	市民サービスを維持するため、公共建築物の老朽化に伴う再整備においても、現存する資源を有効活用し、限られた財源で公共施設を再整備していく必要がある。また、長期的な人口減少、少子高齢社会による人口構成の変化が見込まれる中で、公共施設の利用需要を見極めて、中長期的な視点を持ちながら施設全体の整備を計画的に進めていくことが重要となっている。	
	公共施設の老朽化に伴う再整備は、財政的にも厳しい状況にあり、全国の自治体の課題となっている。国（関係省庁連絡会議）においては、2013年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、2014年4月に総務省が「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」を示し、各地方自治体においては、この指針を参考に総合管理計画を策定するよう求められている。（本市については、2015年3月に「藤沢市公共施設等総合管理計画」を策定済。）	
市民ニーズ	把握方法	<p>藤沢市公共施設再整備プラン策定時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント（2014年7月10日～8月11日。広報ふじさわ7月10日号、カラフルフジサワ（藤沢市）で周知） ・各地区郷土づくり推進会議（鵠沼地区を除く12地区）への説明（2014年7月2日～31日、各1回） ・広報ふじさわ7月25日号の特集ページで、「公共施設の再整備を進めていきます」を掲載し、問い合わせや意見聴取等による把握 ・市民説明会（2014年9月13日：湘南NDビル、9月20日：鵠沼市民センター、9月21日：湘南大庭市民センター。広報ふじさわ7月25日号及び自治会町内会回覧で周知）
	把握内容	公共施設再整備基本方針における再整備の考え方を説明し、再整備プランの短期プラン及び長期プランの内容と短期プランにおける実施事業及び検討事業について意見聴取した。
	対応等	パブリックコメント、各地区郷土づくり推進会議及び市民説明会における意見や要望を踏まえ公共施設再整備プランを策定した。
他市等の事例		

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	第2次藤沢市公共施設再整備プラン（短期プラン：平成29年度から平成32年度）に位置づけた事業の進捗状況を一元的に管理し、藤沢市公共施設基本方針に定める公共施設の「安全性の確保」、「長寿命化」、「機能集約・複合化による施設数の縮減」の取組を進めた。また、藤が岡二丁目地区再整備事業では、事業者選定のための公募型プロポーザルを実施し、PFI手法に基づく特定事業契約の締結を行い、公共施設の再整備における民間活力を導入し、財政支出の削減と平準化を図るための取組を進めた。	
	まちづくりテーマ	⑤ 都市の機能と活力を高める
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	<p>厳しい財政状況や少子超高齢化社会による人口構成の変化が見込まれる中で、老朽化した公共施設の再整備は重要な取組である。今後も、国の補助メニューなど、特定財源の確保や起債の検討を行い、将来負担の軽減を図るとともに、PPP/PFIといった民間活力の導入を検討し、財政支出の削減及び平準化を目指していく。</p>	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
11	公共施設再整備に関する庁内調整, 検討	無	無	1	3
12	公共建築物台帳等システムに関すること	無	無		1
13	公共施設状況調査の庁内調整, 回答	無	無	1	3
14	藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会に関すること	無	無		3
15	公共資産活用等検討委員会に関すること	無	無		3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。
 ※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	企画政策部	氏名	関口 隆峰	確認日	2018/6/6
----	-------	----	-------	-----	----------